

●自己評価						●関係者評価	
令和6年度 西九州大学佐賀調理製菓専門学校 自己評価表(調理師科・パティシエ科)							
	評価項目	適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1	課題	今後の改善方策	特記事項	関係者評価 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1	関係者評価 特記事項
教育 目標 理念	①学校の理念・目的・育成人材像は定められているか(専門分野の特性が明確になっているか)	4	①学校の理念・目的・育成人材像等は定められているが、前年度同様に、教職員含め教育理念について理解が浅い。 ②今のニーズに合っていないところが見受けられる。 ③国際化が一層進展し、留学生の入学者が増加することが予想される。受け入れ態勢を整備することが求められている。 ④学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒・保護者等に周知されていない ⑤保護者に周知されているかは不明。	①教職員の教育理念再認識が必要。 ②社会のニーズと本校のカリキュラムが合致しているかの検証は必要。 ③卒業式まえにでも保護者の方に対して一年間の感謝の気持ちを込めておもてなし料理・お菓子を振る舞うようなイベントなどを行う。 ④生徒・保護者に対して、ホームページの閲覧を推奨する。情報開示も含め各科の特徴や授業内容も確認できる。		3	保護者に対し ホームページ等 で周知していく必要 がある。
	②社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	3					
	③学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒・保護者等に周知されているか	3					
	④各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	3					
学校 運営	①目的等に沿った運営方針が策定されているか	3	生徒の数が減少していく中で、物価上昇に伴い学費の見直しが必要。	物価上昇に伴い実習費もかかるので学費を上げ、生徒からの授業料収入によって運営できる体制を作り上げる。体験入学参加者の歩留まり率向上をめざす。 教材費、光熱費等の値上げから、学納費の見直しは必要である。 ①ホテル委託学生制度など、働きながら学べる学校としての営業を推進するとともに、ハード・ソフト両面につながる準備・段取りを全職員が意識共有する。		3	高等教育無償化の流れの中で、本校も積極的な取り組みが必要。
	②事業計画に沿った運営方針が策定されているか	3					
	③運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	3					
	④人事、給与に関する制度は整備されているか	4					
	⑤教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	3					
	⑥業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	3					
	⑦教育活動に関する情報公開が適切になされているか	4					
	⑧情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3					
教育 活動	①教育理念に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4	②多様な生徒にはある程度個別の指導が必要なのではないか。 ③多様な生徒が増加しているが、全体の授業自体を、多様な生徒に合わせている傾向があるのではないか。教科書に沿った授業がされていないと生徒が不満に感じてしまうのではないか。 ④個人対応の学生が多く、職員の負担が増えている。 ⑤職員の能力開発のための研修への参加は業務が多く、できていない。 ⑥職員の業務が多忙の為、研修等に行ける時間の確保が難しい。 ⑦職員が研修に行きやすい状況をつくる。関連分野に必要な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取り組みが十分とはいえない。	①授業に対するモチベーションの向上。感性を向上させる方策が必要。 ②生徒の多様なニーズに応じて、教育内容や指導方法の改善に努める必要がある。 施設・設備の充実が不可欠。 ③免許取得にふさわしい授業を行うべきではないか。授業のやり方の見直しは必要。 ④体系的な学びができるようにカリキュラム、シラバス内容の変更について検討をする必要がある。 ⑤基礎的実習においては初級・中級・上級に分けて指導する。 ⑥企業と連携した校外実地演習等を通じた現場での職業実践教育に力を入れる。 ⑦地元企業等の施設の活用等の様々な工夫による最先端の施設・設備に触れる機会をつくる。 ⑧学校評価委員会・生徒の学校評価等の意見を活用する。 ⑨外部からの評価・意見を積極的に取り入れ、具体的な改善に繋げる必要がある。 ⑩教職員の外部の研修会への参加がしやすいための体制作りを検討する。 ⑪遠隔の研修が受けられる案内を中心にする事で、移動時間を削減し、受けられる体制に近づける。		4	特記なし
	②目標の設定として、教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関として各学科の教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	3					
	③学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4					
	④関連分野の企業・関係施設等、業界団体等の連携により、カリキュラムの教育方法の工夫・見直し等が行われているか	3					
	⑤関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技、実習等)が体系的に位置づけられているか	3					
	⑥授業評価の実施・評価体制はあるか	4					
	⑦職業に関する外部関係者からの評価を取り入れているか	4					
	⑧成績評価、単位認定の基準は明確になっているか	4					
	⑨資格(免許)取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4					
	⑩人事育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保し、組織できるか	3					
	⑪関連分野における業界等との連携に於いて優れた教員(本務・兼務含め)の提供先を確保するなどマネジメントが行われているか	3					
	⑫関連分野における先端的な知識・技能等を習得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	3					
	⑬職員の能力開発のための研修等が行われているか	3					
学修 成果	①就職率の向上が図られているか	4	②材料費の高騰で、専門的な食材を使つての実習が出来ていない。 ③今年度は社会人の退学者が増加。モチベーションの低下がみられた。特徴のある生徒に関しては、多くの時間を費やし個別対応も行ったが、フォローしきれなかった。今後そのような生徒が増えた場合さらに対応が難しくなる。 ④生徒と先生の距離が近すぎるのでは？ちょっとナメてるようにも見える。 ⑤今年度は委託訓練生の退学者が多かった。 ⑥退学者が4人。 ⑦中退者の減少・出席率の向上・資格取得の向上。 ⑧卒業後の活躍や評価はあまり把握できていない。	①就職活動に関しては動き出しが遅いので早めに指導していく。 ②インターンシップに行かせて就職活動を意識させていく。 ③個々のレベルに合わせた実習内容の検討。 ④多様な企業等から求人があるので企業の実態把握を的確に行い、学生の個性や勤労意欲に合致した就職先を選ばせる指導に努める。 ⑤②出席率の悪い学生に対して、保護者に出席状況を通じ、授業に出るように協力してもらおう。保護者との連携を強化するため前期と後期の年2回、年間行事予定表を郵送する。 ⑥退学理由を把握し、低減に活用していくことを継続する。 ⑦社会人ばかり4名が退学していることは少し真剣に考えた方がよいと思う。また次年度は本当の意味で多様性がある状況になるので、授業時間の遅らせや補習の実施なども必要になるように思う。財務的にもとにかく退学をさせない施策をしないとけない。 ⑧入学動機や学習意欲、学力面、生活面、交友面、心身面、経済面等で多様な学生が入学している。個々の学生の実態を把握し、個々の状況に応じた指導を図って退学理由を明確にし、今後対策を考える必要がある。 ⑨カウンセリング活用などの心のケアを重点的に行い、過ごしやすい環境を整える。今後もカウンセリングが必要な生徒は日程を決めて今後も行っていったほうがよい。生徒からカウンセリングを断られた時や多様な生徒との関わり方の対策の講座を職員全体にしてみえないか。		3	就職率が高い状況にあるのは努力に対する成果であり大変良い状況。
	②資格(免許)取得率の向上が図られているか	3					
	③退学率の低減が図られているか	2					
	④卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3					
	⑤卒業時に学校に対する満足度調査を行い、その結果を次年度の教育活動に活かしているか	3					
学生 支援	①進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4	②スクールカウンセラーへの相談を利用する生徒が少ない。 ③国際化が一層進展し、留学生の入学者が増加することが予想される。受け入れ態勢を整備することが求められている。 ④現在スクールカウンセラーを設置しているが、活用できていない。 ⑤学生に対する経済的支援や生活環境への支援。 ⑥出席不足の生徒や授業で寝ている生徒がいる。 ⑦OB・OGの状況把握ができていない。	①就職意識を高め、雇用される人材の育成を図る。 ②メンタル支援に加え、多様な学生の課題に対応できるように、アドバイスを受けることができる相談機関等の検討が必要である。 ③単位不足の報告は令和5年度にあがっている改善ができていない。単位不足になりそうな生徒は、担当教科の職員が会議か朝礼で報告し、共有してもらい、職員全体で早めの対策ができるようにしたほうがよいのではないかと。 ④生徒の指導は、教科担当でも行っていただきたい。 ⑤遠距離の生徒に対する支援はあった方がよい。 ⑥遠隔地から通学する学生に対して、アパート探しの支援など学校としても取り組んでいく。 ⑦同窓会名簿の作成により、卒業生の現況を把握していくシステムが必要であり、卒業生との繋がりをつくる。 ⑧卒業生の動向の把握や卒業支援のために、松風祭でのホームカミングデーの実施や卒業生組織作りなどを検討する必要がある。		3	同窓会について、年1~2回の会合を開くなどし、OB・OGに対するPRをすすめるべき。
	②生徒相談に関する体制は整備されているか	4					
	③生徒の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	3					
	④生徒の健康管理を担う組織体制はあるか	3					
	⑤課外活動に対する支援体制は整備されているか	3					
	⑥生徒の生活環境への支援は行われているか	3					
	⑦保護者と適切に連携しているか	3					
	⑧卒業生への支援体制はあるか	3					
	⑨社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	3					
	⑩高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	3					

評価項目	適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1	課題	今後の改善方策	特記事項	関係者評価	関係者評価 特記事項
					適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1	
教育環境	①施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	3	①施設は古い、財政状況が悪く修理できない。 ②あまりにも設備投資・保全をおろそかにしたツケが回っている状況。	①実践的な職業教育を行うための施設・設備の拡充を行う。 ②最低限のメンテナンスは必要なのではないか。	3	特記なし
	②学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	3	①実習室の器具・機材購入がされていない。設置基準にみたしているが、実際、老朽化したり現場で使用されているものが、専門学校にはない。	①インターンシップに行くように声掛けをする。		
	③防災・安全管理に対する体制は整備されているか	3	①施設の不足と整備不足。 ②施設の老朽化。大切に使用している、メンテナンスをする予算もないため、壊れてしまう。			
学生募集	①学生募集活動は、適正に行われているか	3	①高校訪問へ行くようになり、学生募集の成果が出たように思う。 ②1月の高校訪問の範囲を拡大する。	①定員確保のため、オープンキャンパスの運営方法や告知等について検討していく必要がある。 ②学生募集活動に関しては、更に御校の素晴らしさをアピール出来る様、工夫する。	3	令和7年度の生徒数が回復していることは素晴らしいこと。
	②学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	3	③学生の募集に当り本校のピーアールが少し弱いと思われる。生徒数の激減は学校の命取りになる。 ④「8割来ても赤字」の時点で学納金の見直しは必要。ラーメン一杯の値段が5年で1.3倍になっている状況であるので少なくとも20%程度は値上げする必要がある。	③素直に4~5万の値上げを行う。 ④学納金値上げの実施。福岡の専門学校と比較してみる。		
	③入学選考は、適正に行われているか	4	④物価上昇に伴い学納金を上げていかないと実習の内容が満たされない。 ⑤物価が高騰している為学納金の見直しは必須。	④学納金値上げだけでなく、全体の値上げを検討した方がよいのではないかと。		
	④学納金は妥当なものとなっているか	3				
財務	①中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	2	①財務に関して詳しく分からない。赤字続きで状況が悪い。	①学校の今後の方針を理事会、経営戦略会議等で具体的に検討していく。	4	特記なし
	②予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	3	②本来であれば充足率7割でバランスシートはトントンぐらいにしておかないといけなかった。			
	③財務について会計監査が適正に行われているか	4	③赤字を少しでも減らすことを考える。 ④今後の学生減少対策に向け、中長期的な取り組みが必要である。			
	④財務情報公開の体制整備はできているか	4	④生徒数の確保が最重要課題である。			
法令等の遵守	①関係法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4	①設置基準等を遵守した学校運営を行っている。	①職員に対する労働法についての説明をする。	4	特記なし
	②個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4	②個人情報保護の為に具体的に出ている。個人で気を付けている程度。	②コンプライアンス遵守の重要性を認知しながら、外部研修や勉強会を通して、社会的課題やコンプライアンス等について理解を増やす。		
	③自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	3				
	④自己評価結果を公開しているか	4				
地域・社会・貢献	①学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4	①学校も生徒も地域に受け入れてもらえるような地域社会と連携する取り組みを行っている。 ②生徒と地域の方々との交流ができる機会が少ない。	②生徒のボランティア活動として年に数回実施する。 ③今後も社会や地域のニーズに応えられる社会貢献・地域貢献活動に協力していく。(オープンカフェ等)。	3	県農業試験場で開発された作物の商品開発等のサポート、司厨士協会のボランティアの手伝いなど、生産者との連携を検討してみよう。
	②生徒のボランティア活動を奨励・支援しているか	3	③地域のボランティア清掃活動に参加出来ない。	④地域からの要望・提案を受けられるシステムづくりを検討する。 ⑤地域の方々や学校に来ていただけるような学生主体の活動をさらに取り入れる。		
	③地域に対する公開講座・教育訓練の受託等を積極的に実施しているか	3				